

# 本校の「全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせします

中道北小学校

4月19日に、「全国学力学習状況調査」が行われました。毎年、全国の6年生の国語と算数の学力を把握するために実施し、その結果を分析することで、全県やその校の課題を明らかにすることにより、今後の授業改善に役立てることを目的としています。

以下に、本校の6年生の児童の結果をもとに、分析し課題を把握しました。今後本校の児童の学力をさらに伸ばすために必要だと思われる内容をまとめましたので、ご覧いただき家庭学習等でのご参考にしてください。

なお、6年生にはすでに結果の個票を返却し、授業の中で振り返りを行い、6年生の保護者には結果の概要等も配布してあります。

|                       | 国語A（主として知識）  | 国語B（主として活用）   |
|-----------------------|--|---|
| <b>本校の状況</b>          | ・平均正答率は県の平均（71.3）、全国の平均（72.9）を上回り、正答数の分布は15問中9問から11問正解者が全体の半数以上を占めている。 | ・平均正答率は県の平均（58.2）、全国の平均(57.8)を上回っている。<br>・正答数分布は中位の児童が多く、正答数3問以下はいない。   |
| <b>課題</b>             | ◆漢字を書く。<br>単漢字ではよいが、熟語としての書きに課題がある。                                    | ◆インタビューメモを基に、話の展開に沿った質問を書くことに課題がある。<br><br>◆グラフなどの資料を基に書いた内容として適切なものを選ぶことに課題がある。  |
| <b>今後の取組<br/>・改善点</b> | ◇漢字の学習は熟語として捉えさせ、熟語として練習する。また表現活動でも言葉として熟語が使いこなせるようにしていく。              | ◇話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿った質問をする活動を取り入れる。<br><br>◇インタビューする活動では、あらかじめ準備したメモばかりでなく、得られた回答からさらに質問を加えるといった活動を行う。<br><br>◇グラフなどの資料からわかったことを自分の言葉で話したり、書いたりする活動を取り入れる。 |
|                       | 算数A（主として知識）  | 算数B（主として活用）   |
| <b>本校の状況</b>          | ・平均正答率は県の平均（77.2）、全国の平均（77.6）をやや上回り、正答数の分布は、正答数半分以下の児童は少ない。            | ・平均正答率は、県の平均（46.6）、全国の平均（47.2）を上回っており、正答数の分布は、13問中5問から9問の正答数が全体の80%以上を占め  |

|                              |  |  |
|------------------------------|--|--|
| <p><b>課題</b></p>             | <p>◆除法において除数が1より小さい場合商は被除数より大きくなることの理解に課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>\square \div 0.8</math> の商</li> </ul> <p>◆小数の除法の検算の仕方にやや課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>48.1 \div 1.3 = 37</math><br/>検算 <math>37 \times 1.3 = 48.1</math></li> </ul> <p>◆小数の除法の計算にやや課題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>18 \div 0.9</math></li> </ul> <p>◆直方体において示された面と垂直の関係にある面を選ぶことにやや課題がある。</p> <p>◆前に10人後ろに19人並んでいる全体の人数を求める問題にやや課題がある。</p> <p>◆乗り物の定員と人数の割合を図にあらわすことに課題がある。</p> | <p>ている。</p> <p>◆ハードルのコースで、何台目のハードルをどの位置に置けばよいか、計算で求めることに課題がある。</p> <p>◆ハードル走の目標タイムを求める計算について説明することに課題がある。</p> <p>◆図形の組み合わせによって作れる形について角度やその計算によって説明することに課題がある。</p> <p>◆図形の組み合わせによってできる形を角度の合計などの条件を使って選ぶことに課題がある。</p> <p>◇日ごろから活用問題で、図や数直線を活用し、図の中には問題を読んでわかった数字は積極的に書き込ませるようにすることで、思考の助けになる。</p> <p>◇日ごろから算数での解答は算数的、論理的に伝えられるよう習慣づけていく。授業の中でも言い直しをさせる等して意識させる。</p> |
| <p><b>今後の取組</b><br/>・改善点</p> | <p>◇小数の除法の計算練習を多くし、習熟すること。</p> <p>◇直方体、立方体等の立体の面と面の関係について（垂直・平行）確認する。</p> <p>◇割合の問題のうち、乗り物の定員は100%で表すこと、乗車率は100%を超えることもあることなどを確実に押さえる。</p>   | <p>◇図形の学習においても、計算によって求める必要があるときには、しっかり式を書かせる。さらに、なぜそういう立式をしたのか言葉で説明できるようにさせていく。また、問題を解く際には、把握した数値や補助線を図の中に書き込むように習慣づける。</p>  |

**「児童質問紙」から把握できる課題の概要と改善の方向**

（「児童質問紙」とは、子どもたちの生活習慣や学習に対する意識などを把握するために、学力調査と同時に行った全85問のアンケートです。）

本校の6学年児童は

- ・「自分には良いところがある」という自己肯定感を持つ児童が県・全国の平均と比較して少ない。また失敗を恐れずに挑戦したり、友達の前で自分の考えを発表することも苦手な児童が多い。
- ・就寝時間、テレビ・DVDなどの視聴時間、ゲームをやる時間などは県・全国の平均と比較して短く、好ましい生活習慣といえる。（反面インターネットやメールに費やす時間はやや長い）

- ・図書館（図書室）に行く頻度は、県・全国と比較して多いし、読書が好きという児童の割合も高い。
- ・宿題は忘れずにやったり、家庭学習で授業の復習をしたりする児童は多いが、授業の予習をするという児童は非常に少ない
- ・授業で、自分の考えを他の人に説明することを難しいと感じている児童が多い。また、友達との話し合いで自分の考えを広げることができているという児童は少ない。
- ・国語の勉強も算数の勉強も「好き」と答えた児童の割合は県・全国より少なく、国語で積極的に資料などを読んで考えをまとめたり、算数で難しい問題に意欲的に取り組んだり、最後まであきらめずに考えたりする児童の割合が少ない傾向にある。

#### 【改善の方向】

中道北小の児童は他の地区の児童と比較して、節度ある生活習慣で過ごしているといえるし、学校からの課題にもまじめに取り組み宿題、家庭学習等、読書活動にもしっかり取り組んでいるといえる。これらのよい習慣は今後も家庭との良好な連携を通じて、継続、さらに高めていきたい。

授業や家庭学習においては、決められたことをしっかりこなすことも大事であるが、自ら課題を見つけようとする態度を育てたり、課題を解決するために様々な方法を試したり、友達との話し合いで多様な考えを吸収し自分の考えに生かしたりできるような授業の展開、教師・大人の声掛け、評価・称賛が重要であり、その過程が子どもたちにとって喜びと感ぜられるような学習活動に導いていく必要がある。

今後も中道北小の子どもたちが、さらに伸びていけるよう、家庭と学校が連携して、子どもたちの教育に当たっていきたい。

以上のような課題とそれに対する改善点を示しました。学校としてはこれらの課題を踏まえ、日々の授業での授業改善に取り組んでまいります。

結果は本年度の6学年児童のものですが、同じ地域、同じ学校で過ごす他学年の児童にも多少の差はありますが、同様の傾向があると考えられます。各ご家庭におかれましても家庭学習の中で充実させる部分、実生活の中で考えたり、身に付けさせたりできること（例えば、テレビ・新聞などから得た情報について自分の考えや理由を言わせるなど、算数では買い物の際に決められた予算の中で買物をさせたり、得な割引の商品を選ばせたり、また移動の距離と時間との関係に目を向けさせたりするなど）につつまして、お子様との関わりを持っていただき、学校と家庭が連携して子どもたちに基礎基本となる事柄やそれらを活用して自ら考えて課題を解決していく力をつけて参りたいと考えております。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。